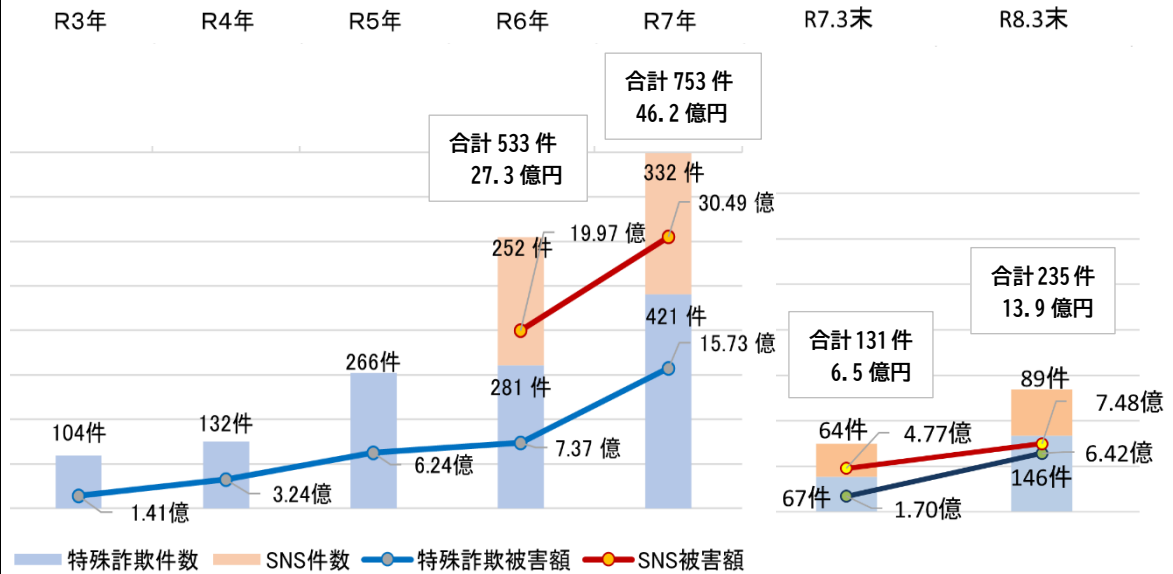


1 特殊詐欺の現状



2 「県民運動」実施の趣旨

これまで「トクリュウ・闇バイト・詐欺・強盗緊急対策プラン」に基づき、県と県警察が中心となってトクリュウ対策に取り組んできたが、被害状況に鑑みれば、これらの取組だけでは被害を防ぎ切れていない。

被害者からは、手口を知らない、特殊詐欺についてあまり認識がないという声が多く聞かれ、県民が「自分事」としてより主体的に対策に取り組む必要がある。

そこで、緊急対策プランに基づく対策に加え、新たに「県民運動」として広く県民に参加を呼び掛け、市町や学校、地域の団体、事業所等を含め、県民総ぐるみで対策を推進するもの。

3 主な推進事項

(1) 重点取組事項

運動重点①

まずは詐欺電話をブロック!

運動重点②

家族や友人にも対策を広めよう!

(2) 主体別の推進事項

- ・ 本人や家族（防犯対策を徹底し、家族や周囲にも伝え、広げる）
- ・ 自主防犯団体や地域（防犯意識の高い町づくりを進める）
- ・ 県内事業者（利用者への情報発信と、声かけによる被害の未然防止を図る）
- ・ 教育機関を含む自治体（教育や情報提供を行い、県民に広く周知する）

4 当面の予定

5月25日（月）「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議 開催

滋賀県トクリュウからみんなを守る県民運動

～県民総ぐるみで社会全体の防犯力向上を目指す～

重点取組事項



運動重点①

まずは詐欺電話をブロック!

固定電話には国際電話不取扱受付センターで手続き
携帯電話には詐欺電話ブロックアプリを入れるだけ

～国際電話や詐欺電話を受けないことが
トクリュウ対策の第一歩です～

運動重点②

家族や友人にも対策を広めよう!

家族や友人、近所の人にも直接呼びかけよう
離れた家族は大丈夫?こまめな連絡で被害防止

～みんなの力でトクリュウを滋賀県から追い出そう～



ト とにかく詐欺電話はブロック!
ク 悔やお前に取り組もう
ま まずはあなたの周りから
も もっと知らなきゃトクリュウ対策



滋賀県トクリュウからみんなを守る県民運動

～県民総ぐるみで社会全体の防犯力向上を目指す～

県民運動の推進事項

本人や家族ができること

詐欺電話のブロック対策、個人情報などを他人に伝えないなどの防犯対策を徹底し、家族や周囲にも伝え、広げる。

- ◆ 詐欺電話や国際電話のブロック対策
- ◆ 詐欺の手口を知る
- ◆ 個人情報を他人に伝えない、タンス預金をしない
- ◆ 防犯アプリをインストールし、最新の情報を入手
- ◆ 被害に遭った、遭いかけたなどの経験談を周りに伝える

自主防犯団体や地域でできること

防犯教室の開催や防犯カメラの設置などにより防犯意識の高い町づくりを進め、住民同士の繋がりを深めていく。

- ◆ 地域住民への防犯教室の開催
- ◆ 防犯設備や防犯カメラの設置促進
- ◆ 県民運動特設サイト(仮)の活用
- ◆ 独居・高齢者世帯の把握と注意喚起
- ◆ 回覧板や地域ネットワークを通じた周知活動

県内事業者ができること

従業員への防犯教育を行い、利用者に向けた情報発信を行う。窓口での声かけを徹底するなど被害の兆候を見逃さない。

- ◆ 従業員やその家族に向けた防犯教育の実施
- ◆ 事業者間での情報交換
- ◆ 窓口での声かけの徹底、確実な通報
- ◆ 店舗でのポスター掲示、店内放送
- ◆ 県民運動特設サイト(仮)の活用

教育機関を含む自治体ができること

あらゆる媒体を活用してトクリュウや犯罪加担に関する教育、情報提供を行い、県民に広く周知し、被害防止に努める。

- ◆ 職員への防犯教育の実施
- ◆ 子ども達への犯罪加担防止、被害防止教育
- ◆ 保護者世代への情報提供
- ◆ 広報誌やHP、アプリを活用した情報発信
- ◆ 講座や集会などあらゆる機会での周知活動
- ◆ 防犯カメラ設置支援

県民運動に向けた新たな県・警察の取組

県民運動特設サイトの開設

県民運動大使による情報発信

防犯アプリぽけっとポリスしがの機能追加

防犯設備士協会による防犯教室

SNS投稿への注意喚起

固定電話用自動録音機の貸出

被害防止対策のための調査・研究

子ども向けITリテラシー向上コンテンツ作成

防犯カメラ設置補助金事業

おうみデジタルサポーターとのスマホ教室

啓発動画コンテスト

今からできる! 県民運動推進リスト!!

みんなでとめよう!! 国際電話詐欺 「#みんとめ+1(ぷらすワン)」

- みんとめ1 : 固定電話への国際電話着信拒否
無料でできる国際電話不取扱受付センターへの申込み(0120-210-364)
- みんとめ2 : 詐欺電話をブロックする詐欺防止アプリのダウンロード
警察庁が推奨する無料の対策アプリをダウンロード
- +1(プラスワン) : 県警防犯アプリ「ぼけっとポリスしが」をダウンロード
最新手口や予兆電話発生時の情報発信、不審者情報等のお知らせ、
しらがメールの受信、防犯ブザー機能、犯罪発生マップ、自主パトロール

県民一人ひとりができること

まずは各自、#みんとめ+1を実践!

- 固定電話があるお家では、国際電話不取扱受付センターで手続き『Web申し込み』『電話申し込み』『郵送申し込み』ができます
- 固定電話に留守番電話設定、ナンバーディスプレイ、ナンバーリクエストの設定
- 迷惑電話防止機能付き電話に変更
- 携帯電話には国際電話等ブロックアプリをインストール
- 携帯電話に非通知拒否設定、迷惑メール受信拒否設定
- 防犯アプリ「ぼけっとポリスしが(県警公式アプリ)」をインストールし、最新情報を入力
- 個人情報了他人に伝えない
- タンス預金をしない
- 自宅の防犯設備を見直し、防犯カメラやセンサーライトを設置し、家の防犯力を高める
-

次に家族(特に実家などの高齢者家庭)、友人、知人、隣人など一人でも多くの人に#みんとめ+1をお知らせする

- 離れて暮らす家族や友人などに、国際電話ブロックについて伝え、広める
- 実家など離れて暮らす家族の固定電話に対して、国際電話不取扱受付センターでの手続きを行ってあげる(申込書の郵送依頼は、本人以外の親族が行うこともできます)
- 詐欺の手口、被害の情報について、周りに広める
- 詐欺に遭った、詐欺に遭いかけた、不審電話を見破ったなど自身の経験談を周りに伝える
- 実家など離れて暮らす家族の家を実際に見に行き、防犯への備えが十分かどうか確認する
-

自主防犯団体や地域でできること

地域の防犯力の向上、地域住民の防犯意識の向上において

- 地域住民同士が集まり、情報交換を行える場所を積極的に設ける
- 地域住民に対する防犯教室や講演会、会合などの防犯教育を行う
(素材は特設サイト等に掲載)
- 防犯教育に際しては、県警や公的機関が提供する資料を活用する
- 防犯設備の設置をすすめる
- 防犯カメラを新たに設置する
- 設置済みの防犯カメラが正常に動いているか随時点検する
- 回覧板や掲示板、地域ネットワークを活用し、地域住民全員に#みんとめ+1を周知する
- 地域内の独居や高齢者世帯を把握し、直接訪問するなどして注意喚起をはかる
- パトロールの際などに不審人物や不審車両を見つければ、すぐに110番通報する
- イベントや祭りなど人が多く集まる場所では、会場や配布物に#みんとめ+1を掲載する
-

県内企業ができること

従業員や会社に対して

- 従業員に、家庭における#みんとめ+1を実践してもらう
- 事業所の電話や社用携帯等についても可能な限り、国際電話の着信拒否を実施する
- 研修会を開催し、詐欺防止動画の視聴を行うなど従業員への防犯教育を行う
(動画などは県警YouTubeなどを活用)
- 従業員間の連絡ツールを活用して、従業員に最新の犯罪情報を提供する
(素材は特設サイト等に掲載)
-

利用者に対して

- 名刺、チラシ、案内文、会社の封筒、レシートなどに#みんとめ+1の二次元コードを印刷する
(素材は特設サイト等に掲載)
- デジタルサイネージ等で県民運動を周知する
- 事業所のアプリ、SNS、メーリングリストなどのツールで定期的に防犯情報を周知する
- 館内放送、「呼び込み君」のようなメッセージなどで県民運動や#みんとめ+1を周知する
(原稿は特設サイトに掲載)
- 利用者と対面で接する事業所においては、直接県民運動の取り組みを呼び掛ける
- 配達サービスなどを利用する独居や高齢者世帯に訪問する際に、直接呼び掛ける
-

特に、金融機関や ATM を有する商業施設、コンビニなどの小売店では

- 従業員への防犯教育を徹底し、最新の詐欺手口を周知させる
- 被害防止のため、積極的に利用者への声かけを実施させる
- 金融機関の窓口では、高額出金や多額振込に対する確実な声かけと警察への通報の徹底
- 預手プランを確実に実施、
- ATM への巡回を行い、通話中の者や高齢者の長時間操作に対する確実な声かけの実施
- コンビニでは、電子マネーやプリペイドカードの購入者に対する確実な声かけと警察への通報の徹底
- 店舗間の連絡ツールを確立し、情報共有が行えるようにしておく
- 複数店舗での電子マネー等購入被害を防止するため、被害情報、未然防止情報などを他店舗にも共有する
- ATMや店舗に啓発ポスターやチラシを掲示し、被害を水際で阻止する対策を講じる
-

教育機関を含む自治体ができること

学校などの教育機関では

- 学校通信、お知らせなどを通じて生徒や保護者世代に#みんとめ+1を周知する
- 学年通信などにぼけっとポリスしがの二次元コードを挿入する
- PTA 活動、地域別小集会、入学・卒業行事、始業終業行事において#みんとめ+1を周知する
- 学級活動、ホームルーム、学年集会などの場で詐欺防止（闇バイト防止）の動画を児童・生徒に見せる（素材は特設サイトに掲載）
- 昼休みの校内放送などで#みんとめ+1を周知する（原稿は特設サイトに掲載）
-

自治体や公的機関では

- 内部研修会において、職員への研修、詐欺防止動画の視聴をする（素材は特設サイトに掲載）
- 名刺、チラシ、案内文、封筒、広報誌などに#みんとめ+1の二次元コード等を印刷する（素材は特設サイトに掲載）
- 自治体のアプリ、SNS、メーリングリストなどのツールで定期的にチラシ（データ）を周知する
- 自治会単位等で#みんとめ+1の周知を依頼する（回覧板等の活用）
- 会議、会合、集会などあらゆる場において、#みんとめ+1を周知する（口述案は特設サイトに掲載）
- 館内放送などで#みんとめ+1を周知する（原稿は特設サイトに掲載）
- デジタルサイネージを活用して#みんとめ+1を周知する
-